

from/to #1

Takeshi Masada

Naho Yokoya

政田 武史 / 横谷 奈歩 展



政田武史 "Untitled"
2004, acrylic color on vinyl sheet



横谷奈歩 "書齋のためのイメージ模型"
2004, mixed media

ワコウ・ワークス・オブ・アートでは今夏より、厳選された若手作家による展覧会のプロジェクトを開始します。その第1回となる今展では、Room1にて政田武史のペインティング作品、Room2にて横谷奈歩の映像インスタレーションをご紹介します。

これまで、布に絵具を染み込ませる技法"ステイニング"の作品を制作してきた政田。新作を発表する今展では、ビニールを貼ったパネルを用い、アクリルで描いたペインティングのシリーズを展示する。画面上において、筆致や染みが作り出す空間と、それらによって生まれるイメージが作る空間。一方の空間を認識すれば他方は見えなくなり、二つの空間を同時に見ることは出来ない—「見る」と「見える」について考えさせられるこうした絵画体験が、一貫した彼のテーマとなっている。繊細さが内在しながらも、大胆な筆触で描かれた画面。そこには「絵画」そのものに対する強い眼差しが向けられている。

一方、映像をメディアとして作品を制作する横谷。彼女は、それぞれの場所に潜む日常に少しの操作を加えることで生成される、異質な世界を提示する。今展においても、ひとつの空間に庭や小部屋、洗面所、書齋や隠し部屋を配し、その先に広がる非日常的風景を新作の映像とインスタレーションで表現する。何気ない日々の生活を別の角度から見つめ直すことによって、普段は見過ごしてしまいがちな日常の本質が垣間見えてくる。

政田 武史

1977年大阪生まれ。2003年京都市立芸術大学大学院研究科絵画専攻油画卒業。主な展覧会に「Slow painting」(2003, Daiwa Radiator Factory Viewing Room, 広島)、「政田 武史展」(2001, nomart edition project space, 大阪)、「Walk Don't Run」(2001, Gallery ZERO, 大阪)がある。

横谷 奈歩

1975年東京生まれ。1998年東京藝術大学入学。現同大学院博士課程在学中。主な展覧会に1999年「アートインク東京1999 21×21」(2000, セゾンアートプログラム, 東京)、「I gallery's eye vol.4」(2000, ギャラリー伝, 東京)、ミュンヘン国立アカデミー & 東京藝術大学交流展(ミュンヘン国立アカデミー、ミュンヘン、ドイツ)がある。

会 場: ワコウ・ワークス・オブ・アート WAKO WORKS OF ART

新宿区西新宿3-18-2-101・103 Tel/ 03-3373-2860 Fax/ 03-3373-2812 E-mail/ info@wako-art.jp

(新宿駅南口より徒歩15分、京王新線初台駅東口より徒歩5分)

会 期: 2004年7月9日(金)~7月31日(土)

開廊時間: 11:00~19:00 日・月・祝 休み

オープニングパーティー: 7月9日(金) 18:00~20:00

*また、9月1日(水)より、プロジェクトの第2回として、中山美央子 矢部奈桜子展も開催予定です。併せてご覧下さい。